

財務諸表論 I 沖縄大学上期 H23. 4. 11-8. 1 の授業結果

開議期間	配当年	単位数	科目必須区分
前期 4/1-9/30	下記参照	2 単位	学生生活ハンドブックの設置科目及び卒業要件参照
担当教員 山内眞樹	法経学科：2・3 年		

講義概要 (1)現行会計基準の重要項目の解説、
 (2)IFRS による主な変化の方向、
 (3)関連する公認会計士試験短答式問題の点検、
 を行い現代会計(財務諸表論)を理解する

授業結果	第 1 回	会計の変化	(H23. 4. 11)
	第 2 回	連結会計	(H23. 4. 18)
	第 3 回	企業活動の測定と評価	(H23. 4. 25)
	第 4 回	会社法会計	(H23. 5. 2)
	第 5 回	外貨換算の会計	(H23. 5. 9)
	第 6 回	損益計算書の役割	(H23. 5. 23)
	第 7 回	会計制度と監査	(H23. 5. 30)
	第 8 回	時価評価の会計	(H23. 6. 6)
	第 9 回	退職給付の会計	(H23. 6. 13)
	第 10 回	固定資産の会計	(H23. 6. 20)
	第 11 回	企業組織再編の会計	(H23. 6. 27)
	第 12 回	貸借対照表の役割	(H23. 7. 4)
	第 13 回	純資産の部の会計	(H23. 7. 11)
	第 14 回	ディスクロージャー	(H23. 7. 25)
	第 15 回	企業価値の評価	(H23. 8. 1)

授業形態 レジュメを説明、質問を受ける
 達成目標 現代会計の諸会計基準と実務の適用を理解する
 評価方法 レポート 60%、小レポート 30%、出席報告 10%
 評価基準 上記について評価する
 教科書・参考書 「参考書」ゼミナール現代会計入門第 8 版 伊藤邦雄著(2010.4 日本経済新聞出版社)
 「その他」会計諸則集(2010.4 税務経理協会)
 公認会計士試験短答式 財務諸表論第 7 版 石井和人著(2010.10 中央経済社)

履修条件 無し
 履修上の注意
 オフィスアワー 終了後の 6 時限に対応する
 備考・メッセージ